【震－12】 官民連携による東部地区被災跡地利用計画検討調査（対象箇所：福島県相馬市）

【実施主体】相馬市

平成27年度

調査目的・これまでの経緯

相馬市では、東日本大震災により被害を受けた東部地区（原釜・尾浜地区）の活力が低下した沿岸部を再生・復興するにあたり、観光地や周辺施設との連携の観点から、土地利用計画を検討するとともに、官民連携手法の導入を念頭に尾浜地区の包括的な管理運営スキームについて検討した。

H23.8　復興計画Ver.1.1策定
H24.9　移転促進区域跡地利用等検討業務
H27.3　災害危険区域跡地利用計画策定
H27.4　復興計画Ver.2.2策定

施設の概要

施設名称：尾浜公園（仮称）
敷地面積：6.9ha
整備施設：イベント広場、子ども遊戯場
　　フラワーパーク（民間）
　　多目的施設（建築）
コンセプト：子どもたちが遊び、人が集い交流できる憩いの場
特　　徴：民間活用で包括的な運営を展開

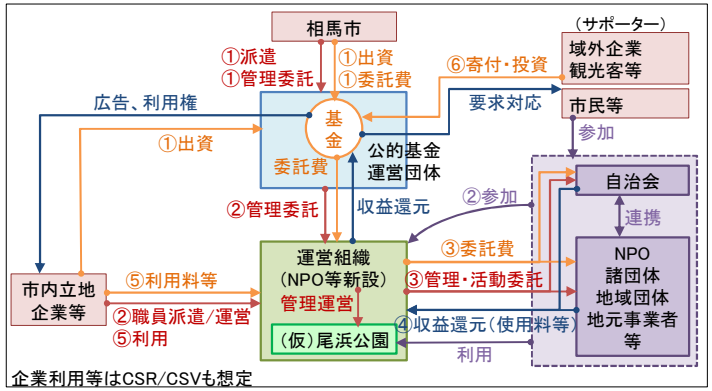
調査結果

1．尾浜公園（仮称）整備計画等の検討

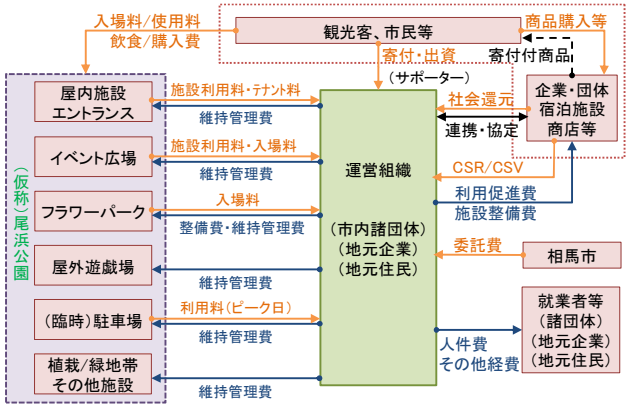
各種団体で構成されるワークグループにおいて出された土地利用計画をもとに、尾浜公園（仮称）の整備計画を立案した。

2．包括的な管理運営スキームの検討

上記施設の管理運営について、長期的に目指すスキームを検討するとともに、現在のスキームから段階的に移行する仕組みについて検討した。



【長期的なスキーム案】



【運営組織の収益案】

3．包括的管理運営組織創設に向けた検討

行政の委託費用削減と、運営組織への民間事業者の参入を促進させるため、事業全体の資金流について検討を行った。

【これまでの委託等による収支項目】
委託収入、利用収入、管理費
【官民連携による新たな収支項目】
寄付/出資、CSR/CSV、寄付付商品等の展開

今後の展望

■今後の予定

平成28年度　公園実施設計、組織設立に向けた準備、他エリアの土地利用検討
平成29年度　造成工事、運営組織立上げ
平成30年夏　一部開園、（民業として）フラワーパーク整備
中長期　　周辺を含めた包括的な運営管理へ展開

■事業化にあたっての課題

・未相続地等の用地取得に向けた地権者との合意形成と都市計画決定
・長期スキームへの移行に向けて、短期スキームでの試行と改善
・中核となる民間事業者の擁立に向けた収益確保と向上